

## 1. 西部地域乗合タクシーについて

### 1.1 調査の目的と実施状況

- ▶ 西部地域乗合タクシーの沿線地域を対象に、住民の生活実態・交通行動等の公共交通に対するニーズをはじめ公共交通改善実施計画（交通不便地域改善施策・西部地域編）の運行評価指標及び運行改善参考指標として活用することを目的として、これまでに5回実施しています。
- ▶ 西部地域乗合タクシーを運行する地区に在住する20歳以上の市民を対象に、調査ごとに800部/回配布しています。

【参考】これまでの西部地域住民アンケート実施状況

乗合タクシー	回数	実施時期	配布部数(部)	回収部数(部)	回答率
運行開始前	第1回	令和元年(2019年)8~9月	800	265	33.1%
運行開始後	第2回	令和元年(2019年)11~12月		240	30.0%
	第3回	令和2年(2020年)10月		292	36.5%
	第4回	令和3年(2021年)9~10月		240	30.0%
	第5回	令和5年(2023年)8月		211	26.4%

### 1.2 認知率の状況

- ▶ アンケートでは、運行評価指標のうち西部地域乗合タクシーの認知状況を示す認知率を把握しています。
- ▶ 認知率は、第3回アンケート（令和2年（2020年）10月実施）以降において、運行目標値である80%を上回っています。

●西部地域路線における運行評価指標の運行目標値・改善基準値・見直し基準値

大項目	小項目	運行目標値	改善基準値	見直し基準値
		事業実施に当たっての目標値とする。計画期間中の目標として定め、短期での目標達成は求めないものとする。	事業実施に当たって、短期で達成されるべき目標値とする。この目標値を下回る場合は、具体的な対策を実施する。	事業実施に当たって、最低限達成すべき基準値とする。この目標値を下回る場合は、事業継続について検討を行う。
認知状況	認知率	80%	30%	15%

●これまでのアンケート結果による認知率の状況

	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)	令和5年度(2023年度)
認知率	77.9% (n=235)	86.8% (n=288)	85.1% (n=228)	90.1% (n=203)
住民アンケート実施時期	第2回:令和元年(2019年)11~12月実施	第3回:令和2年(2020年)10月実施	第4回:令和3年(2021年)9~10月実施	第5回:令和5年(2023年)8月実施

### 1.3 西部地域乗合タクシーの利用状況

- ▶ 一日あたりの利用者数は、令和5年度（2023年度）4月～8月で、17.3人/日であり、運行目標値の20人/日に近づいています。昨年度と比べて約半年間実績ですが大幅に利用者が増加しています。

●西部地域路線における運行評価指標の運行目標値・改善基準値・見直し基準値

大項目	小項目	運行目標値	改善基準値	見直し基準値
		事業実施に当たっての目標値とする。計画期間中の目標として定め、短期での目標達成は求めないものとする。	事業実施に当たって、短期で達成されるべき目標値とする。この目標値を下回る場合は、具体的な対策を実施する。	事業実施に当たって、最低限達成すべき基準値とする。この目標値を下回る場合は、事業継続について検討を行う。
利用状況	利用者数	20人/日	10人/日	5人/日

●一日あたりの利用者数

	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
一日あたりの利用者数	8.6人/日	8.2人/日	8.9人/日	12.2人/日	17.3人/日
備考	令和元年(2019年)10月運行開始(6ヵ月間)				令和5年(2023年)4月~8月の5ヵ月間

### 1.4 これからの西部地域住民アンケート調査について

- ▶ 西部地域乗合タクシーの運行開始以降、これまでは年1回のペースで住民アンケートを実施してきましたが、沿線住民の認知率及び一日あたりの利用者数ともに、運行評価指標における改善基準を大きく上回っています。
- ▶ これらの状況を踏まえるとともに、住民へのアンケート調査に対する負担も考慮し、アンケート調査の実施時期を見直します。
- ▶ 今後のアンケート調査は、利用状況の大きな変化及び運行内容の大きな見直し等による西部地域乗合タクシーを取り巻く環境が変化する際に、実施するものとします。

## 2. 南部地域乗合タクシーについて

### 2.1 調査の目的と実施状況

- ▶ 南部地域乗合タクシーの沿線地域を対象に、住民の生活実態・交通行動等の公共交通に対するニーズをはじめ公共交通改善実施計画（交通不便地域改善施策・南部地域編）の運行評価指標及び運行改善参考指標として活用することを目的として、これまでに3回実施しています。
- ▶ 南部地域乗合タクシーを運行する地区に在住する20歳以上の市民を対象に、調査ごとに900部/回配布しています。

【参考】これまでの南部地域住民アンケート実施状況

乗合タクシー	回数	実施時期	配布部数(部)	回収部数(部)	回答率
運行開始前	第1回	令和3年(2021年)1~2月	900	296	32.9%
運行開始後	第2回	令和3年(2021年)10~11月		253	28.1%
	第3回	令和5年(2023年)9月		219	24.3%

### 2.2 認知率の状況

- ▶ アンケートでは、運行評価指標のうち南部地域乗合タクシーの認知状況を示す認知率を把握しています。
- ▶ 認知率は、第2回アンケート（令和3年(2020年)10~11月実施）以降において、改善基準値である30%を上回っています。

●南部地域路線における運行評価指標の運行目標値・改善基準値・見直し基準値

大項目	小項目	運行目標値	改善基準値	見直し基準値
		事業実施に当たっての目標値とする。計画期間中の目標として定め、短期での目標達成は求めないものとする。	事業実施に当たって、短期で達成されるべき目標値とする。この目標値を下回る場合は、具体的な対策を実施する。	事業実施に当たって、最低限達成すべき基準値とする。この目標値を下回る場合は、事業継続について検討を行う。
認知状況	認知率	80%	30%	15%

●これまでのアンケート結果による認知率の状況

	令和3年度(2021年度)	令和5年度(2023年度)
認知率	44.4% (n=239)	56.1% (n=212)
住民アンケート実施時期	第2回: 令和3年(2021年)10~11月実施	第3回: 令和5年(2023年)9月実施

### 2.3 南部地域乗合タクシーの利用状況

- ▶ 一日あたりの利用者数は、令和5年度(2023年度)4月~8月で、3.9人/日であり、見直し基準値の5人/日をやや下回っています。昨年度と比べて約半年間実績ですが、利用者は増加傾向にあります。

●南部地域路線における運行評価指標の運行目標値・改善基準値・見直し基準値

大項目	小項目	運行目標値	改善基準値	見直し基準値
		事業実施に当たっての目標値とする。計画期間中の目標として定め、短期での目標達成は求めないものとする。	事業実施に当たって、短期で達成されるべき目標値とする。この目標値を下回る場合は、具体的な対策を実施する。	事業実施に当たって、最低限達成すべき基準値とする。この目標値を下回る場合は、事業継続について検討を行う。
利用状況	利用者数	20人/日	10人/日	5人/日

●一日あたりの利用者数

	令和3年度(2021年度)	令和4年度(2022年度)	令和5年度(2023年度)
一日あたりの利用者数	2.8人/日	2.6人/日	3.9人/日
備考	令和3年(2021年)4月運行開始		令和5年(2023年)4月~8月の5ヶ月間

### 2.4 これからの南部地域住民アンケート調査について

- ▶ 南部地域乗合タクシーの運行開始以降、年1回のペースで住民アンケートを実施してきましたが、沿線住民の認知率は改善基準値を上回っていますが、一日あたりの利用者数は見直し基準値をやや下回っています。
- ▶ これらの状況を踏まえ、南部地域住民アンケート調査は継続して、実施するものとします。

### 3. 東西軸路線バスについて

#### 3.1 調査の目的と実施状況

- 東西軸路線バスの沿線地域を対象に、住民の生活実態・交通行動等の公共交通に対するニーズをはじめ公共交通改善実施計画（東西軸の強化施策・東西軸路線編）の運行評価指標及び運行改善参考指標として活用することを目的として、これまでに2回実施しています。
- 東西軸路線バスを運行する地区に在住する15歳以上の市民を対象に、調査ごとに1,000部/回配布しています。

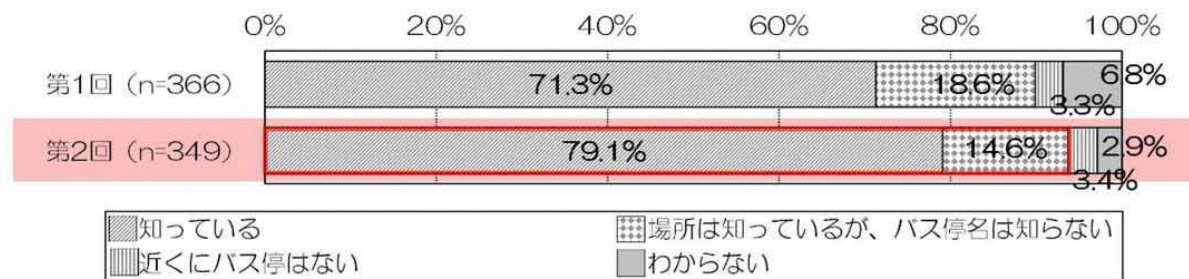
【参考】これまでの東西軸路線バス住民アンケート実施状況

東西軸路線バス	回数	実施時期	配布部数(部)	回収部数(部)	回答率
運行開始後	第1回	令和4年(2022年)1月	1,000	370	37.0%
	第2回	令和5年(2023年)10月		352	35.2%

#### 3.2 路線バス停留所の認知状況

- 「知っている(知っている+場所は知っているが、バス停名は知らない)」が9割以上を占めています(※第1回と同じ傾向)。

【路線バス停留所の認知度】



※表示桁数の関係により、計算値が一致しないことがある

#### 3.3 東西軸路線バスの利用状況

- 一日あたりの利用者数は、令和5年度(2023年度)のうち、4月から8月までの5カ月間の平均で、613.2人/日(平日:683.6人/日、土休日:471.9人/日)です。
- 改善基準値となる310人/日を上回る結果となっています。

●運行評価指標「一日当たりの利用者数」の運行目標値・改善基準値・見直し基準

運行評価指標	運行目標値	改善基準値	見直し基準値
(利用状況) 一日当たりの利用者数	バス運行補助事業の補助金額(2018年度(平成30年度)実績)相当の収入金額となる『1,000人/日』とする	需要予測結果による『310人/日』とする	既存路線(バス運行補助事業路線)との重複区間内停留所の乗降者数(2014年度(平成26年度)乗降調査結果)となる『150人/日』とする

●運行評価指標「一日当たりの利用者数」における評価指標の達成状況 (単位:人/日)

	全日	【参考】平日	【参考】休日	備考
令和3年度(2021年度)	380.8	448.1	247.2	
令和4年度(2022年度)	499.4	560.0	377.5	
令和5年度(2023年度)	613.2	683.6	471.9	令和5年(2023年)4月から8月までの実績

ICカード利用実績、実数は約1.3~1.4倍程度と想定される。

●年度別輸送実績(事業者報告)

	総数	日平均	備考
令和3年度(2021年度)	182,437人/年	500人/日	
令和4年度(2022年度)	230,639人/年	632人/日	
令和5年度(2023年度)	-	-	※年度末までの輸送実績をもって年度の輸送人員の総数が確定するため、未確定の状態

#### 3.4 これからの東西軸路線バスアンケート調査について

- 東西軸路線バスの運行開始以降、一日あたりの利用者数とともに、運行評価指標における改善基準を大きく上回っています。
- 利用状況を踏まえるとともに、住民へのアンケート調査に対する負担も考慮し、アンケート調査の実施時期を見直します。
- 今後のアンケート調査は、利用状況の大きな変化及び運行内容の大きな見直し等による東西軸路線バスを取り巻く環境が変化する際に、実施するものとします。